



# 東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

## 第 34 号のトピックス

### 2024-2025 年シーズン(2024 年第 36 週-2025 年第 23 週)のまとめ

- ・患者報告数
- ・集団発生報告
- ・ウイルス検出状況
- ・検出ウイルスの遺伝子系統樹解析

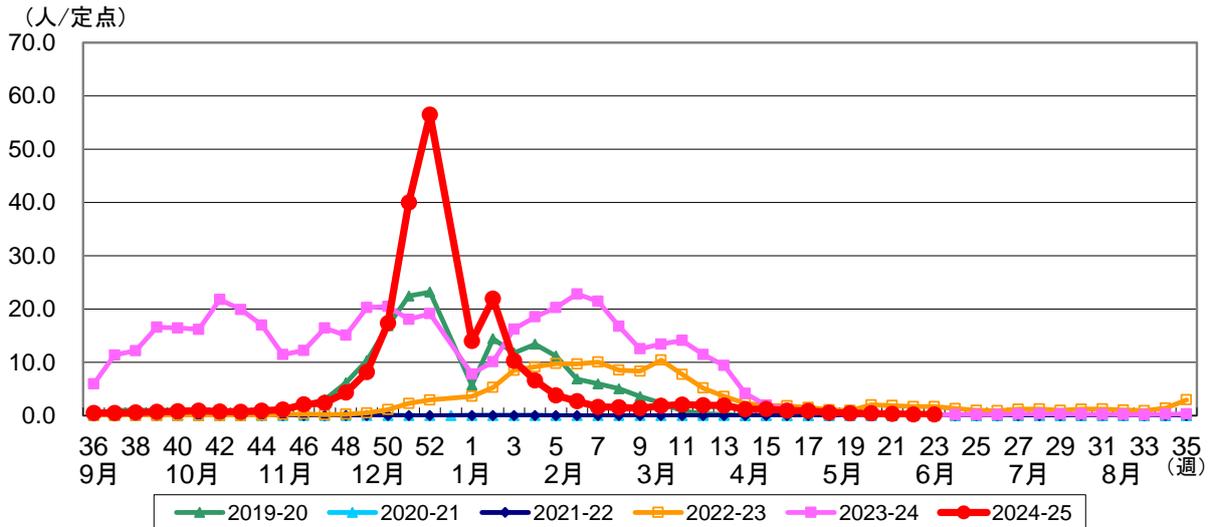


図1. 東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移

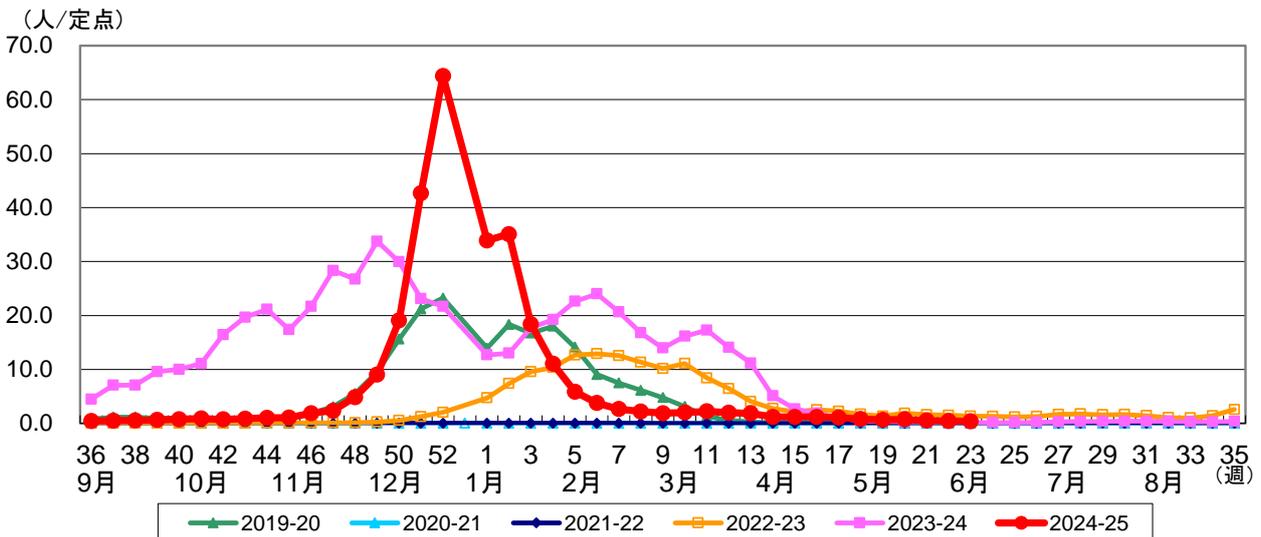


図2. 全国における定点当たり患者報告数の年別推移

## 2024-2025年シーズンまとめ

### 1. 定点当たりの患者報告数の推移

【東京都】 東京都における2024-2025年シーズン(以下、今シーズン)の定点当たり患者報告数は、2024年第45週(11月4日-10日)に流

行開始の指標となる1.00人を上回る1.12人となり、5週間後の第50週(12月9日-15日)には注意報基準となる10.00人を上回る17.36人まで増加し、その1週間後の第51週(12月16日-

22日)には警報基準となる30.00人を上回る40.02人まで増加しました。その後、定点当たり患者報告数は、第52週(12月23日-29日)に今シーズンで最も多い56.52人となりましたが、2025年第1週(12月30日-1月5日)には13.98人まで減少しました。定点当たり患者報告数は、第2週(1月6日-12日)には一旦増加しましたが、その後は緩やかに減少し、第4週(1月20日-26日)には6.60人と10.00人を下回り、第16週(4月14日-20日)には0.94人と1.00人を下回りました。第16週以降も第23週現在まで、定点当たりの患者報告数は1.00人を継続して下回っており、東京都における今シーズンの流行は、第16週で終息しました(図1)。

今シーズンの東京都におけるインフルエンザの定点当たり患者報告数は、2024年第51週から第52週までの2週間において、2018-2019年シーズン以来5年ぶりに警報基準を上回りました。また、定点当たり患者報告数が警報基準を上回るのは、過去シーズンでは1月から2月でしたが、今シーズンは12月の第51週と早い時期でした。12月の流行開始初期に警報基準を上回るのは、2014-2015年シーズン以来10年ぶりのことでした。

【全国】全国における定点当たりの患者報告数は、東京都よりも1週早い第44週(10月28日-11月3日)に1.04人と1.00人を上回り、その後は東京都と同様に、第50週(12月9日-15日)に19.08人と10.00人を第51週(12月16日-22日)には42.72人と30.00人を上回り、第52週(12月23日-29日)に64.39人と流行のピークを迎えました。これ以降、定点当たり患者報告数は第2週(1月6日-12日)には一旦増加しましたが減少に転じ、2025年第5週(1月27日-2月2日)に5.87人と10.00人を下回り、東京都よりも2週遅い第18週(4月28日-5月4日)には0.79人と1.00人を下回りました。全国における今シーズンの流行は、第18週で終息しました(図2)。

## 2. 年齢階層別の患者報告数

今シーズンの患者報告数を年齢階層別にみると、5-9歳の年齢階層が最も多く、次いで10-14歳の年齢階層が多く報告されました(図3)。報告された患者数全体における5-9歳の年齢階層の割合は21.8%、10-14歳の年齢階層の割合は18.0%と、2つの年齢階層の割合は全体のおよそ40%を占めていました。

しかしながら、昨シーズンにおける患者報告数の年齢階層割合をみると、5-9歳は31.4%、10-14歳は25.3%と今シーズンよりも高く、今シーズンの患者報告数における5-9歳及び10-14歳の年齢階層の割合は、昨シーズンよりも低くなっていました。

一方、20歳以上の年齢階層の割合をみると、昨シーズンは23.1%でしたが、今シーズンは38.4%と、昨シーズンよりも高くなっていました(図4)。

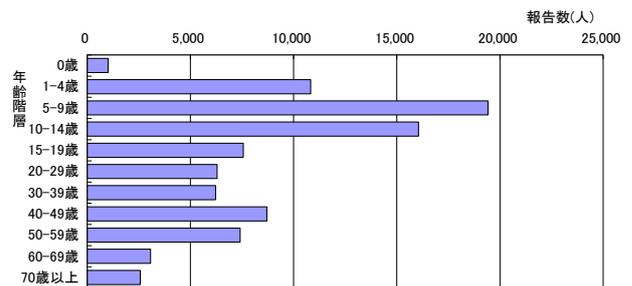


図3. 年齢階層別にみた定点医療機関からの患者報告数

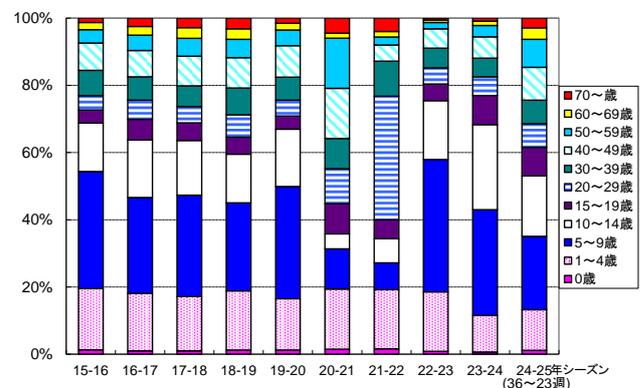


図4. 過去10シーズンにおける患者報告数の年齢階層割合 (2015-2025年)

### 3. インフルエンザによる入院患者報告数

今シーズンに基幹定点医療機関から報告のあったインフルエンザによる入院患者数は、1,521 件（第 23 週 現在）でした。入院患者報告数は、シーズン開始の 2024 年第 36 週から報告があり、2024 年第 52 週には 306 人と最も多くの報告がありました（図 5）。

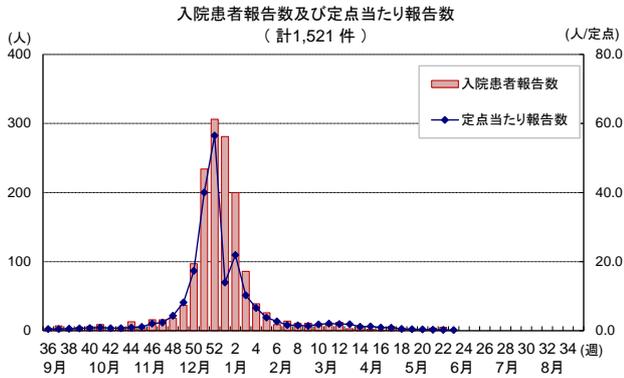


図 5. インフルエンザによる入院患者の報告数

### 4. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

インフルエンザ様疾患による集団発生の報告数は、2,329 件（第 23 週 現在）でした。今シーズンの集団発生の内訳は、小学校が 1,010 件で最も多く 43.4%、次いで保育所が 555 件で 23.8%、続いて中学校が 389 件で 16.7%、社会福祉施設 193 件で 8.3%、高等学校が 86 件で 3.7%、医療機関が 56 件で 2.4%、幼稚園が 37 件で 1.6%、その他の施設 3 件で 0.1% でした。2024 年第 51 週には、537 件と最も多い集団発生報告がありました（図 6）。

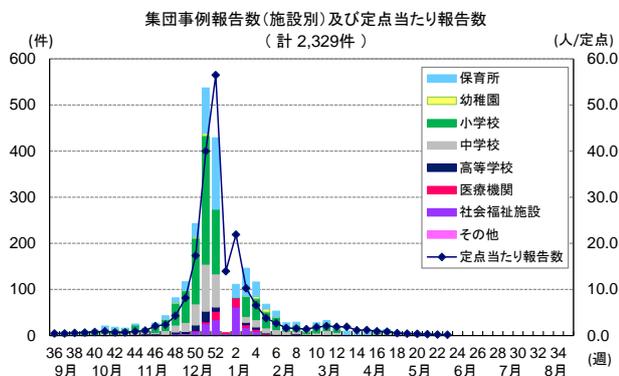


図 6. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

### 5. ウイルス検出状況

2024 年第 36 週から 2025 年第 21 週までに病原体定点医療機関から 799 検体が搬入され、362 検体からインフルエンザウイルスが検出されました。検出されたインフルエンザウイルスの内訳は、AH1pdm が 237 件、AH3 亜型が 77 件、B 型が 48 件でした（表 1）。また、検出された B 型は全て Victoria 系統でした。

今シーズン検出されたインフルエンザウイルスは、シーズン当初は AH1pdm09 の検出数が多く、2025 年第 6 週頃からは AH3 亜型と B 型の検出数が多くなりました（図 7）。

表 1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

搬入週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス				
			AH1pdm09	AH3	B Victoria 系統	B Yamagata 系統	B 系統 不明
第36週(9/2-8)	6	1	1				
第37週(9/9-15)	10	4	3		1		
第38週(9/16-22)	6	2	1	1			
第39週(9/23-29)	2	0					
第40週(9/30-10/6)	6	3	2		1		
第41週(10/7-13)	6	4	4				
第42週(10/14-20)	3	3	3				
第43週(10/21-27)	7	4	4				
第44週(10/28-11/3)	5	3	2	1			
第45週(11/4-10)	4	1	1				
第46週(11/11-17)	8	6	6				
第47週(11/18-24)	14	10	9	1			
第48週(11/25-12/1)	23	17	17				
第49週(12/2-8)	25	23	19	4			
第50週(12/9-15)	29	23	20	2	1		
第51週(12/16-22)	33	27	23	4			
第52週(12/23-29)	40	39	34	4	1		
第1週(12/30-1/5)	0	0					
第2週(1/6-12)	31	24	19	5			
第3週(1/13-19)	22	16	15	1			
第4週(1/20-26)	24	20	15	3	2		
第5週(1/27-2/2)	21	17	13	3	1		
第6週(2/3-9)	17	14	6	6	2		
第7週(2/10-16)	8	4		2	2		
第8週(2/17-23)	14	9	3	3	3		
第9週(2/24-3/2)	6	4	1	2	1		
第10週(3/3-9)	14	9	2	3	4		
第11週(3/10-16)	17	14	1	9	4		
第12週(3/17-23)	13	9	2	4	3		
第13週(3/24-30)	13	9	1	4	4		
第14週(3/31-4/6)	11	8	2	4	2		
第15週(4/7-13)	38	6	1	3	2		
第16週(4/14-20)	55	6	2	2	2		
第17週(4/21-27)	54	10	1	4	5		
第18週(4/28-5/4)	39	2	1	1			
第19週(5/5-11)	24	3			3		
第20週(5/12-18)	94	5	1		4		
第21週(5/19-25)	57	3	2	1			
第22週(5/26-6/1)	検査中						
第23週(6/2-8)	検査中						
合計	799	362	237	77	48	0	0

インフルエンザ情報発行時点で検査結果が判明したものを掲載

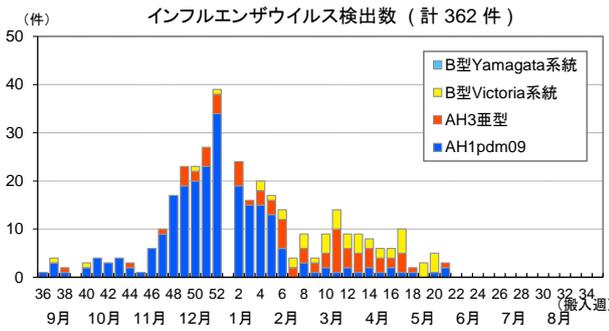


図7. 定点医療機関から搬入された検体における  
インフルエンザウイルス検出数の推移

## 6. 検出されたインフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹解析

2025年4月末までに遺伝子検査で検出されたインフルエンザウイルスAH1pdm09 233件、AH3亜型74件、B型Victoria系統31件のうち、AH1pdm09 46件、AH3亜型23件、B型Victoria系統20件について、HA遺伝子の分子系統樹解析を行いました。

AH1pdm09の流行株は、昨シーズンと同様

に、大きく2つのクレードに分けられました(図8)。2025年3月までに検出された株の多くは、2024-2025年シーズンのワクチン株(A/Victoria/4897/2022)と異なるクレード①に属しました(2024-2025年シーズン流行株①)。一方、2025年4月に検出された株はすべて、2024-2025年シーズンのワクチン株と同じクレード②に属しました(2024-2025年シーズン流行株②)。

AH3亜型の流行株は、昨シーズンの都内検出株およびワクチン株(A/California/122/2022)と同じクレードに属しました(図9)。

B型は昨シーズンに続きYamagata系統は検出されず、Victoria系統のみ検出されました。B型Victoria系統の流行株は、昨シーズンの都内検出株およびワクチン株(B/Austria/1359417/2021)と同じクレードに属しました(図10)。

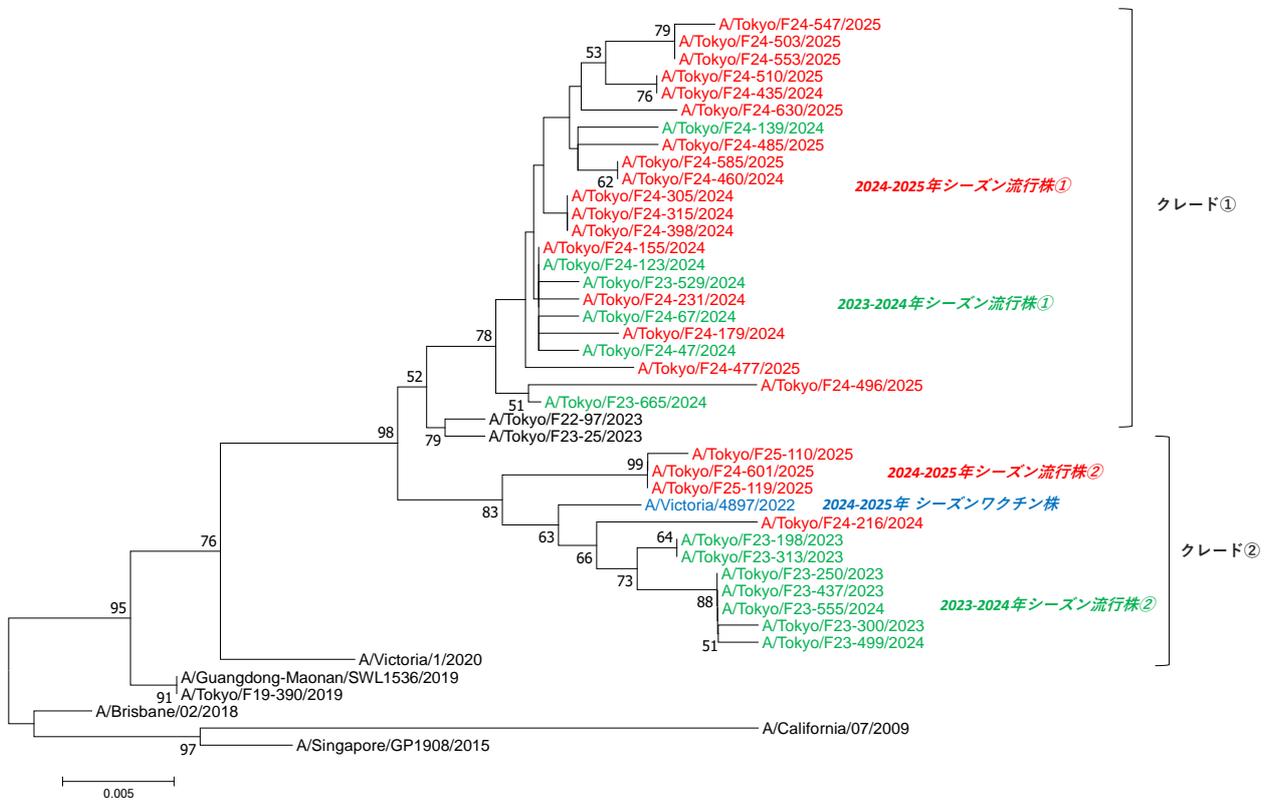


図8. 東京都で検出されたAH1pdm09インフルエンザウイルスのHA遺伝子の分子系統樹(ワクチン株含む)

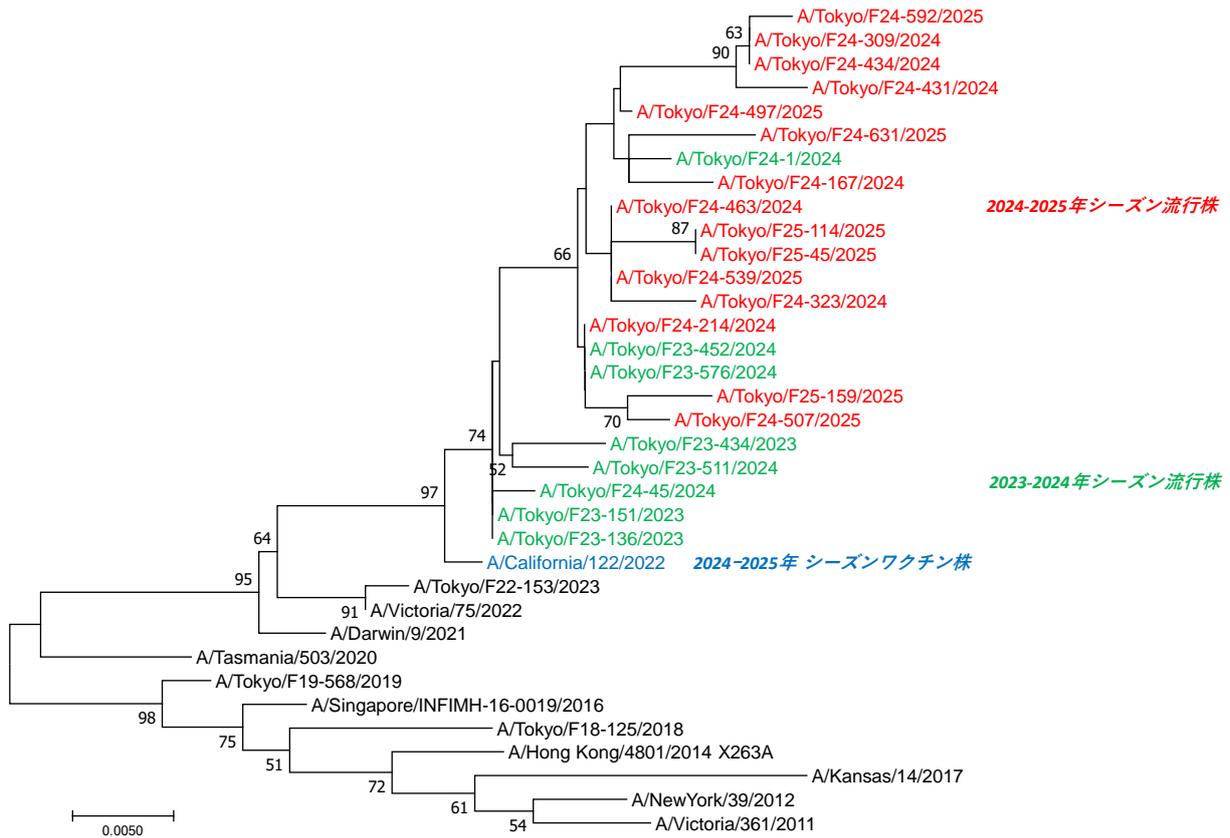


図9. 東京都で検出されたAH3亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子の分子系統樹(ワクチン株含む)

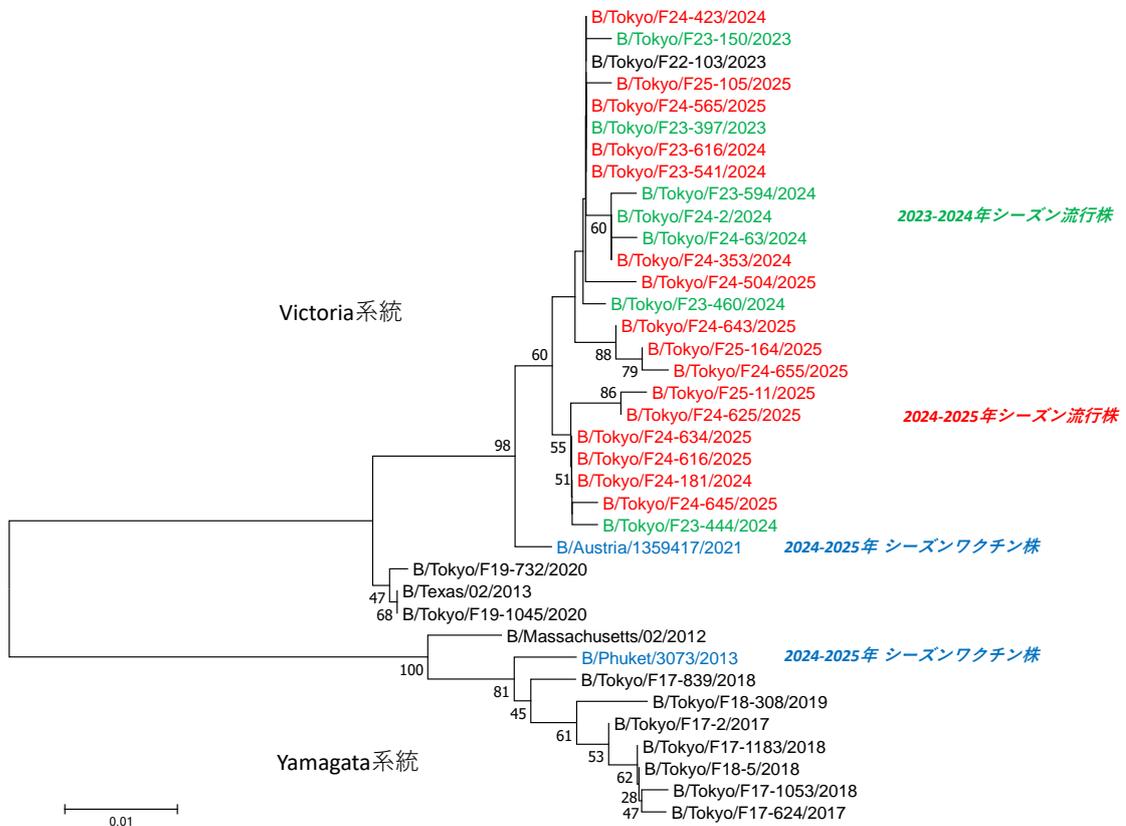


図10. 東京都で検出されたB型インフルエンザウイルスHA遺伝子の分子系統樹(ワクチン株含む)

インフルエンザウイルスHA遺伝子の分子系統解析については、以下にも掲載されていますので、ご参照ください。

◎東京都健康安全研究センターホームページ  
「都内におけるインフルエンザウイルスの遺伝子系統樹解析について」  
([https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/lb\\_virus/influenza\\_ha/](https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/lb_virus/influenza_ha/))

◎東京都感染症情報センターホームページ  
「東京都微生物検査情報 2025 年 4 月号」  
(<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/epid/2025/tbkj4604.pdf>)

**2024-2025年シーズンのインフルエンザワクチン株  
A型株**

A/ビクトリア/4897/2022(IVR-238)(H1N1)\*

A/カリフォルニア/122/2022(SAN-022)(H3N2)

**B型株**

B/プーケット/3073/2013(山形系統)

B/オーストリア/1359417/2021(BVR-26)(ビクトリア系統)\*

**2025-2026年シーズンのインフルエンザワクチン株  
A型株**

A/ビクトリア/4897/2022(IVR-238)(H1N1)\*

A/パース/722/2024(IVR-262)(H3N2)

**B型株**

B/オーストリア/1359417/2021(BVR-26)(ビクトリア系統)\*

\*2023-2024年シーズン及び2024-2025年シーズンと同じワクチン株

本号をもちまして、2024-2025年シーズンの最終号とさせていただきます。

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
企画調整部健康危機管理情報課  
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S1153803@section.metro.tokyo.jp

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>